

# 経営者、商品企画者、営業マンにも知ってほしい 設計者のためのグッドデザイン基礎講座

学習時間

合計約 **8** 時間

対象者

入門レベル | **初級レベル** | **中級レベル** | 発展レベル

開催場所

貴社指定場所  
(応相談)

## プロダクトデザインで付加価値を高めるには

商品開発に関わる人たちにとって、スタイリング、色彩、操作性などプロダクトデザインの知識と理解は必須となっています。特に、「ユニバーサルデザイン」、「サステイナブルデザイン」、「デザイン思考」などの新しいデザインの知見は、ものづくりにたいへん重要です。プロダクトデザインとは、生活に求められる「モノ」を、「使用者」と「使用環境」の視座から着想し、産業的手段を通して具現化する活動です。

本セミナーでは、まず、プロダクトデザインに関わる基本事項を解説し、産業機器や生活用品など、製品の事例研究からプロダクトデザインを深耕します。また、実践知としての応用力を養うため、技術、デザイン、知財視点の考察を行い、プロダクトデザインにおける「新価値創造」を説きます。

### 講師プロフィール



菅藤 晶広

東京電機大学・非常勤講師

現、大手光学情報機器メーカーのデザイン部門のジェネラルマネージャー。光学機器、情報通信機器、映像事務機器、環境機器、医療機器、宇宙産業機器等のプロダクトデザインや先行デザイン開発に従事。また、プロジェクト管理、国内外市場調査、デザイン戦略策定、デザイン知財教育、ドイツデザイン賞審査委員、海外関係会社デザイン指導（イタリア、オランダ、韓国、USA）、デザインの海外現地化推進（USA、香港）、海外デザイン調査（ドイツ、USA、台湾）等歴任。

### 特徴 1



#### プロダクトデザインの基本視座

「ヒト」、「モノ」、「環境」の三位一体で考えましょう

### 特徴 2



#### プロダクトデザインの創造サイクル

デザインの包括的、総合的な視点で考察し、しなやかに発想しましょう

### 特徴 3



#### プロダクトデザインの開発フロー

開発の上流でたくさんのアイデアを創出し、知財化することが重要です

### 特徴 4



#### グッドデザイン賞の対象

第三者評価を得れば販促及びブランドイメージの向上が期待できます

# プログラム

|                        |                 |
|------------------------|-----------------|
| 1. はじめに（定義）            |                 |
| (1) 御社の経営理念は？          | 感性価値            |
| (2) 御社のコアコンピタンスは？      | 強みと特徴           |
| (3) デザインの専門分野          | 素早い判断/行動/反省     |
| (4) 新価値創造と知財化          | プロダクト、グラフィック、、、 |
| (5) 技術/デザイン/知財の三位一体    | トータルデザイン戦略      |
| 2. プロダクトデザインの基本的知見     |                 |
| (1) プロダクトデザインの歴史       | バウハウス           |
| (2) プロダクトデザインの原則       | ヒト/モノ/環境、用美一体   |
| (3) プロダクトデザインの創造サイクル   | 作る/売る・買う/使う/捨てる |
| (4) グッドデザインの事例         | Gマーク、iFデザイン賞等   |
| (5) デザインドリブンによるイノベーション | 外観、操作部、インターフェース |
| 3. プロダクトデザインの実践        |                 |
| (1) 御社の課題抽出            | モデルチェンジ、アドバンス   |
| (2) 課題の分類/整理           | 特許性吟味           |
| (3) デザインテーマの特定         | 統一イメージ、メッセージ    |
| (4) 調査事項               | 競合、知財           |
| (5) 課題解決案              | デザイン思考          |
| 4. デザインで付加価値を高めブランドを作る |                 |
| (1) 課題解決案の吟味           | 他社差別化、オリジナリティ   |
| (2) コンセプト策定            | アイデア、一貫性        |
| (3) ビジュアル化             | CG、ロードマップ       |
| (4) 提言                 | 仮説提示、グランドデザイン   |

本講義内容・時間はご提案です。

実際には、ご希望をうかがった上で、内容や時間など御社に最適なプログラムとなるようカスタマイズいたします。

ご質問・お申し込みは、お気軽に担当者または右記窓口までご連絡ください。

## お問い合わせ窓口

### 東京電機大学 リスキリング事務局

Eメール：information-tdudtec@jim.dendai.ac.jp

電話：03-5284-5202（学長室内）

（3営業日を目安にご連絡いたします）